（一）　第三百七十七號　（日曜水曜）　いわき民報　夕刊　昭和二十二年七月二十二日

いわき民報

發行所
いわき民報社
平市田町八四番地電一七六番
編輯兼發行人
兼印刷人　千葉克巳
（但月曜を除く）
定價一ケ月十円一部五十錢

麥の町村割當決定

あす郡食糧調整委員會招集

イモとジヤガイモと

麥と馬鈴薯の供出割當にともなう郡食糧調整委員會は明二十三日午前十時から平市第二小學校に招集、町村別割當を行うが專門委員會で決定した町村別割當案は次の如くこの分だと郡割當の麥一萬四千五百六十石、馬鈴薯九十一萬三千貫（うち種子用十四萬七千貫）はなんとか執成出來るもようである、なお供出期限と褒賞制その他代替供出についても協議する＝

案は麥で五分、じゃがいもで二分ぐらいの増減あるもよう上は麥、下は馬鈴薯（括弧内は種子用割當）

町村	石	貫
泉	五九七	三〇三八三
渡邊	四〇〇	三三一一〇
植田	八三六	二九四七四
山田	九三三	二八七七四
錦	七四二	二〇七六八
勿來	九二二	四一九五〇
上遠野	五四三	七四〇〇
	（一五〇〇〇）	
入遠野	六〇七	一二七〇
	（一四〇〇〇）	
川部	六五一	一六九〇六
	（一八〇〇〇）	
田人	三五九	一〇五六二
	（一六〇〇〇）	
飯野	三〇七	三一〇三五
夏井	六七一	四一四二一
高久	五八八	三三〇一七
豐間	一九四	二〇一七〇
江名	二一〇	九七七〇
鹿島	二四三	一七七二
小名浜	四六三	一六三一〇
磐崎	四七三	三〇三八三
湯本	一四九	一〇二一七
内郷	二九三	一八〇二二
好間	四七四	三五三三一
赤井	五二六	二四六二八
永茸	二七二	二八〇〇
	（一三〇〇）	
澤渡	三〇一	九九〇八
神谷	三九九	四二六七二
草野	七一二	四七一五七
大浦	七八六	二二五一五
四倉	一三五	八〇三八
大野	五〇一	三四六九四
小川	六二二	二一三二四
	（一八〇〇〇）	
川前	一三七	五五五〇
	（一五〇〇〇）	
平	三八七	七六六七四
	一五、四四二石	
	七八一、九一〇貫	
	（一九九〇〇〇貫）	

供出は一切來月中に

麥と馬鈴薯の郡割當麥一萬四千五百六十石じゃがいも九十一萬三千貫決定にもとづく郡食糧調整專門委員會は二十一日午後一時から午前の班長會議に續いて食糧營團樓上に招集その他割當の事務取扱について種々協議同五時散會したが部落の未端割當については迅速公正といつせい供出を期することに決定、麥は八月いつぱい、じゃがいもは八月中旬ごろまでに供出をいそいそことになつた

郡も救援米

供出懇請

あす具體策決定

石城地方事務所では八、九、十の端境期突破に麥とじゃがいもの早期供出をのぞんでいるが、割當決定とゝもに活潑な供出は開始されるものゝこれでも主食配給操作に支障を來たすおそれがあるので郡下の保有農家に呼びかけて午前同樣に救援米供出をこん請することに決定、二十三日開かれる郡食糧調整委員會にはかつて具體策を決めることになり各方面から大きな期待をかけられている

地事の話

あすの委員會で具體策をきめるが保有農家から年間保有米の一割を供出してもらい食糧危機突破に協力をもとめるわけだ

現在供出高

とめるわけだ

供出割當の四〇％

食糧事務所の調査によると郡下の二十一日現在麥とイモ類の供出高は大麥千八百七十俵小麥二百三十七俵、馬鈴薯一萬二千六百六俵で供出割當の約四〇％である

味噌醤油の五月分割當

市の五月分みそ、しようゆ割當は二十一日決定、近く各家庭に配給される、量は一人當りみそ百三十匁、しようゆ二合の割合で前月にくらべみそは三十匁多い

全縣的運動を展開

臨時教員養成所設置促進會が各郡および父兄に呼びかけて

好ましからぬ待遇にも甘んじて教壇に立つのも兒童をいとしい弟妹と思へばこそ、祖國再建は教育の民主化にあればこそと信ずるがためである、この若き無資格教員の微意を吸み、われらの力の充實をはからしめるために、臨時教員養成所を設置せよと第八部の提唱を教組支部新聞陳情するとゝもに教組委員會にも協力を要請縣教組の共鳴、全國的運動にまで持ちあげることゝなつたので、養成所設置促進會では八月縣會を目指し縣會に要請するため、縣下各郡の教組支部に呼びかけその協力を求め先づ全縣的運動たらしめることに決定『兒童を愛すればこそ、若き教員の叫びは通ず』との激文を作成したが更に一般父兄の側面的援助をも要望することゝなりその成行は期待されている

郡食調專門委員市代表

海外引揚

磐城連盟

湯錢も値上げ

湯錢も大巾引上げとなり二十一日から大人二円、小人一円五十錢大人洗髮二円と決つた

平市會協議會

市會協議會は二十五日午前九時から公會堂日本間に招集來月五日行幸する天皇陛下の奉迎その他について打合せる

炭鑛の國管反對決議

きのう東部石炭鑛業會臨時總會

東部石炭鑛業會第二回臨時總會は二十二日午前十時から常陽銀行樓上に開き、炭鑛國管資材の取扱い、その他の問題につき協議の結果、政府の炭鑛國管構想は凡ゆる見地から考察しても、日本產業復興に大なる混亂を吉するとゝもに增產計がくを阻害するもので國管を全面的に反對、石炭廳及び物價廳その他關係方面に決議文を送ることになつた

12,100貫

春繭の集荷

全く終る

まづ目的は達成

郡下の春繭の集荷は十九日で全く終つた、目標一萬二千三百貫に對し飼育中の惡天候の祟りが憂慮され特に三阪澤渡方部の山間部の減產が注目の

パン購入は月末までに

【既報】フリーク券により取りあへず七月中九日分配を斷行することになつた、目下のところ遲配は平均八日弱でこん月はマイロともろこし粉依存による

ポン制のパン配給は二十一日から實施しているが、右について平製パン所では語るいまのところ一日の生產は五千個のため有効期間を八月十日までとした、配給所は市内十か所だが、なるべくこん月中に購入されたい

今月の遲配は九日分と決定

食糧營團平出張所では食糧のひつぱくに伴い縣當局の指示奉迎その他について打合せる

專門委員を設置し解決

市第五部常任委員會は二十一日午後一時から市役所會議室に招集、市營補助住宅建築促進、水道減水緊急對策、第一復興工事促進、平醫療部の鑛害對策、戰災地區に水道施設の際外視察等につき協議結果いづれも專門委員を設置して早急に乘り出す事になつた

リーダーズダイジエスト八月號
（七月二十四日ヨリ）
ささき・ほんや
角忠書店
本通二丁目
電話二八五

いわき寸言

☆稼ぐに追いつく貧乏なし—いまどき眞面目にいうと笑われますぞ

☆働けど働けどわがくらし樂にならずとは石川啄木の歌—よく歌つたりな

☆社會黨の政策はこれからとこういつている間に國民は乾上り申す

☆小名濱と磐玉川の分村問題いよいよ最後の大詰近づく、愍憫を捨てゝかゝれ

☆計がく遲配即計がく的ヤミの奬勵ということを知るべし

ヤマに保安委員會を
事故の防止に
災害の大部分は不注意が原因

しやく熱の地底に三千萬トンの増炭目指して敢闘するヤマの戰士の勞苦は想像に余るものがあるが、この敢闘の蔭にはまた尊い犧牲も時にあることも見逃せない事故發生の原因は戰時中の極度の亂掘と戰後の各種資材面の窮きから、知りつゝも命數を失つた施設に依存せねばないといつた無理さ加減にもよることは明かである、然しその事故原因は詳密に調べてみると、資材關係もあるとはいへその大部分は本人の不注意や仕事に慣れ過ぎての手抜きや油斷に起因している、特に落磐、盛電、炭車事故爆破事故等は少しの注意さへはらへば未然に防止し得るので、常磐炭田各鑛では關係方面と協力、勞資一體となり坑内作業者及び坑外作業者一切を加へた保安委員會を各鑛毎に設け萬一事故發生の際は原因その他一切詳細に調査、委員會を通して檢討、將來の對策を樹立し、災害防止に萬全の策を講じさせることに決定した

内、齊藤、嶺岸、天川の各常任委員が役場に町長及び町會議長を訪れ、現下の任宅難緩和に對する組合の要望を開陳町側の意向を聽取し、町當局は常に大衆團體と密接な連繫を保つため何等か專任の係員の設置をされたいと希望、町側も了とし早急に對策を講ずることなつた、なお同組合では近く臨時大會を兼ねて組合員家族の慰安會を開催する

養蠶實組連合會成る
會長には小沼三男哉氏を推薦

蠶糸石城の復活目指して郡下千六百名の養蠶家を打つて一丸とする郡養蠶實行組合連合會の創立總會は二十一日平市湯殿山社務所で開催、規約を定め役員を左の如く選挙について夏秋蠶掃立の督勵蠶糸業復興五ヶ年計かく實施の具體策等について協議ついで繭價絶對三千掛要望を行うこと等を申合せた

◆會長小沼三男哉（永戸）
◆副會長永久保次則（三阪）酒井冬吉（夏井）◆評議員油重初太郎（山田）駒木根祐次（川前）ひる田榮太郎（田人）松本榮重（下小川）生田目耕（上遠野）◆顧問ひる田一郎（石城支部長）箱崎利勝（地事長）中村芳平（片倉所長）◆幹事草野正雄、永久保俊榮、坂本宗四郎、村田缺男

町有志仲裁で圓滿解決か
内郷町農業會問題

【既報】感情のもつれから波亂をまき起した内郷町農業會問題はその後町有志が仲に入つて兩者の意見を聽取、円滿解決策を講じているが結局磯貝町助役派と告訴された山崎藏太郎派の問題は兩者とも前言取消しとして円滿解決でおさまるもよう

借家人組合町側と懇談
連絡員の設置要望

小名濱町借家人組合では去る十七日馬上組合長、小野、坪内代議定鹿島村長を圍んでの郷土史研究の會も催すことなつている

小名濱健保復活か
懸案の專屬診療所を設置して

小名濱町借家人組合では去る十七日馬上組合長、小野、坪内代議定鹿島村長を圍んでの郷土史研究の會も催すことなつている

第二回卓布手工講習會

市の第二回テーブルクロース手工講習會開講式は二十二日午前九時から一丁目たか崎產婆學校に山野邊社會課長等臨席挙行した受講者は五十名で近く第三回の講習會も開く計がくである、なお同講習は向う十日間續ける

この程児童達から募つた宣傳ポスターを街頭に掲出、防疫宣傳に努めているが、一方文藝部では健全な盆踊歌をと目下一般から懸賞募集中なお近く考古學の權威として知らるる

電報發信地が易くなる判り

電報の發信地がわかりやすく記入される—

電報を受けとると名あての右側に發信局名があるがこれだけでは發信地が不明瞭の場合が多かつたので逓信省ではサービス運動の一つとしてこんどは發信局の上にさらに府縣名や市區名をつけて受信人に電報がどこからきたか一見してわかるように

みのりのフイルム
プロニー
ベスト　セミパール
パーレット
カメラのタカザワ
平・田町・51

帽章。バッチ。メタル
御注文はメイ化粧店へ
募集　男子事務員及外勤2名
アキバ徽章商會
東北代理店メイ化粧品店
平市田町六八

驛前に市内の
案内地圖板
福島實業社が建設

引揚者磐連支部長會議
三郡食調專門委員の市代表は農業會勝理事福田長一郎氏に決定

盛岡署指名殺人犯逮捕
平署のお手柄

盛岡警察署で指名手配中の殺人犯人岩手縣稗貫郡湯本村大溫泉露天商須藤正三（一九）假名は二十二日午後一時頃市内南町江名行自動車車庫前をうろついていたところ平署新妻熊谷兩刑事に逮捕された

高久の鹽泥女殺し判決

高久村字高久製鹽業大津保一（二八）にかゝる傷害致死事件の公判は二十一日午前九時から平地裁支部で開廷され懲役一年執行猶豫三年の判決云渡しがあつた、事件は昨年九月十五日夜大津宅に鹽を盗みに入つた三十才位の女を灰かき棒で毆打死に至らしめたもの

電灯電力工事請負
變壓器モール取付
ラジオ　販賣修理
電機器具販賣修理
若松電機商會
若松久次郎
福島縣平市新川町二五
目標　大町通サンペイ寫眞館向

英語夏季講習會
期間　七月廿五日—八月廿日
課程　補習科、程度ニ應ジ個別補導
時間割　中等科、イソップ物語講義
補習科（月水金）中等科（火木土）
毎日午後三時半五時半但シ中等科八月八日以後午前ニ變更ス
會費　五十円（プリント代を含む）
會場　平市南町七六（平館通り）
英語補導會
文學士　鈴木傳三郎

◇小型自動車修理部◇
くろがね　ダットサン　ダイハツ　マツダ
平警察署前通
三浦商會
電八六四番